

道徳科調査資料 作成の観点

書名 項目	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> ○○○○ ○○○○○ </div>	発行者番号 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">発行者名</div>
内 容	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳的価値の意義及びその大切さなどを自分との関わりで理解させるために、どのような工夫が見られるか。 ○自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めさせるために、どのような工夫が見られるか。 ○自立した人間として他者とよりよく生きるための基盤となる道徳性（道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲と態度）を育成するために、どのような工夫が見られるか。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代的な課題についてどのように取り上げ、その解決に向けて考え続ける意欲や態度を育てるために、どのような工夫が見られるか。 ○問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするために、どのような工夫が見られるか。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○発達の段階に即し、ねらいを達成する上で、どのような工夫が見られるか。 ○深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えるために、どのような工夫が見られるか。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に討論したり書いたりするなどの言語活動を充実するために、どのような工夫が見られるか。 ○問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習に関して、どのような工夫が見られるか。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲を喚起するために、読み物教材にはどのような工夫が見られるか。 ○効果的に活用するために、挿絵や写真、図などにはどのような工夫が見られるか。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○教材の内容を把握しやすくさせるために、仮名遣いや用語などにはどのような工夫が見られるか。 ○主な記述（読み物教材など）と道徳科の内容項目との関係の示し方にはどのような工夫が見られるか。 	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">新訂 新しい道徳</h1>	2 東 書
内 容	<p>＜学習指導要領の教科の目標に関わる工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材冒頭の見出しでは、内容項目に関連したテーマを設定することにより、授業を通してねらいからぶれないようにするとともに、導入で問題を提起してから教材に入るといった問題解決的な学習の流れにより、価値理解を深めるよう工夫されている。 ○自己を見つめるため、巻末に自己評価用紙が設けられている。多面的・多角的に考える力を育むため、一つの事象について教材を読んだりグループで話し合いをしたりする中で、道徳的価値を理解しながら問題解決を図る教材が配置されている。 ○教材末尾に「考えよう」や「自分を見つめよう」の問いを設け、授業で学んだ道徳的諸価値を道徳性の育成につなげる工夫がされている。また、「心情円」を活用することで、考えや思ったことを可視化できるよう工夫されている。 <p>＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「いじめ問題」と「生命尊重」について問題対応ユニットを配置し、複数教材を通していろいろな角度からそれぞれの問題の考えを深めるよう工夫されている。 ○各学年に「情報モラル」に関する教材を配置し、SNSでのいじめなど新しい問題を掲載している。また、スマートフォンの画面を配置するなど工夫されている。 <p>＜発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年生は郷土の学習、2年生は国の学習、3年生は国際理解の学習を重点項目に設定し、考える範囲が段階的に広がっていくよう配慮されている。 ○小中の関連を図った教材を用意したり、3学年の発達の段階を考慮して教材を配置したりするなど、系統的に学習できるよう工夫されている。 <p>＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「話し合いの手引き」では、話し合いの手順やルールを具体的にし、学習の際にも折り込みページを同時に活用できるよう工夫されている。 ○全学年に役割演技などの手立てを示す「ACTION」を掲載し、話し合いや体験的な学習を通して考えが深まるよう工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○教材によっては、あらすじや登場人物の説明が記されており、教材の内容を理解する手助けになっている。教材の文章は短時間で読めるものが用意されている。 ○導入で活用する漫画や挿絵（イラスト）を見ながら考える教材が掲載されている。 ○Dマークを付した題材では、教材内容を補足するデジタルコンテンツが用意されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○心情円やホワイトボード用紙の収納、UDへの配慮がされている。 ○漢字は、小学校配当外漢字の教材初出箇所や固有名詞には振り仮名が付されている。難解な表現は避けるように配慮されており、難解な言葉や必要な情報は脚注で必要に応じてイラストや写真を交え、解説されている。 ○目次と教材冒頭に学習指導要領の四つの視点が色とマークで示され、ねらいとなるテーマが示されている。索引は四つの視点と内容項目ごとに分類して示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末に設けられている自己評価用紙と心情円で、自己を見つめたり考えを可視化したりできるよう工夫されている。 ○3学年の発達の段階に合わせて、系統的な学習ができるよう教材が配置されている。 	

書名 項目	<h1>中学道徳 とびだそう未来へ</h1>	17 教 出
内 容	<p>＜学習指導要領の教科の目標に関わる工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の流れを分かりやすく提示し、各教材に設定された「導入」で学習の目的をつかみ、「学びの道しるべ」では三つの問いを連携させて自分との関わりで考えを深めることにより、道徳的諸価値の意義や意味について理解を深めるよう工夫されている。 ○教材冒頭の導入で生徒の経験や考えを想起させたり、教材末尾の「学びの道しるべ」で自分に引き付けて考えたりできるよう工夫されている。巻頭のページに、多様な考えを深める学習場面が例示され、話合いのイメージがつかめるよう工夫されている。 ○教材末尾の「学びの道しるべ」の問いを通して、道徳的諸価値の理解を深め、道徳性の育成が図れるよう工夫されている。また、巻末に「道徳の学びを振り返ろう」を設け、自分の成長を実感し、課題や目標を見つけることができるよう工夫されている。 <p>＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「いじめ問題」、「差別問題」、「生命の尊さ」について深く考える教材を複数組み合わせたユニットを設け、重層的に考え、深めていくことができるよう工夫されている。 ○発達の段階に合った生活場面から「情報モラル」について考える教材が掲載され情報機器を通したよりよい人間関係について主体的に話し合えるよう工夫されている。 <p>＜発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全学年を通して取り組みやすさが重視されており、生徒が無理なく学習できるよう、短い教材や見て分かる教材が掲載されている。 ○各学年の教材は、発達の段階に即して各視点の取り扱う教材の比重を変えており、内容が分かりやすく、考え、議論する時間が取れるよう配慮されている。 <p>＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭オリエンテーションでは、「道徳科の学びを深めるために」と題し、問題解決的な学習への取組方法を示すことで学習に主体的に取り組めるよう工夫されている。 ○体験的な学習を伴う「やってみよう」の活動は、全てその直前の教材に関連しており、授業とリンクするよう工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○読み継がれてきた教材や理解しやすい短めの教材、見てわかる教材が掲載されている。歴史や文化、スポーツなど、様々な分野で活躍した人物を取り上げている。 ○挿絵や漫画、大きな写真などを使うことで、興味・関心を引き出している。 ○「まなびリンク」マークがある題材は、教材内容を補足する専用のウェブサイトが用意されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○取り組みやすさが重視され、教材の工夫やUDへの配慮がされている。 ○漢字は、小学校配当外漢字の教材初出箇所や固有名詞には振り仮名が付されており、内容を理解し、読み進めることができるよう配慮されている。難解な言葉や読み取りのために必要な情報は脚注で必要に応じて写真を交え、解説されている。 ○目次と教材ごとに学習指導要領の四つの視点が色とマークで示され、テーマごとに関連した教材が示されている。巻末に、四つの視点と内容項目一覧が示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○教材冒頭の導入と教材末尾の「学びの道しるべ」で、生徒が流れとポイントをおさえながら道徳的諸価値について考えられるよう工夫されている。 ○実際の行動と結び付けて道徳的諸価値を学べるよう、「やってみよう」を設けている。 	

書名 項目	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき	38 光村
内 容	<p>＜学習指導要領の教科の目標に関わる工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業での学びの道すじがわかる「てびき」が各教材に設けられ、めあてによる課題設定により教材を通して何を学ぶのかが意識できる。さらに道徳的諸価値についての理解や自覚を促す発問により、自分に引き付けて考えを深めるよう工夫されている。 ○教材末尾の「考えよう」に即した発問とは視点を変えた問いである「見方を変えて」を設け、多面的・多角的に考える力を育めるよう配慮されている。巻末に「学びの記録」を設け、自己を見つめ、振り返ることができるよう工夫されている。 ○教材末尾に「つなげよう」が設けられ、日常生活や他教科との関連、関連図書の紹介などが示されており、学んだ道徳的諸価値が他教科や日常生活につながるよう配慮されている。 <p>＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「いじめ問題」と「情報モラル」について、全学年に主体的・対話的で深い学びを実現するための「深めたいむ」を設け、3年間を通して考えるよう工夫されている。 ○全学年に「生命の尊さ」をテーマとした3教材を掲載して様々な視点で捉える工夫をし、「学びの記録」を巻末に位置付け、変化や成長を振り返る工夫がされている。 <p>＜発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材の登場人物への自我関与が中心の学習、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習を織り交ぜ、道徳的諸価値の自覚を深められるように工夫されている。 ○生活実態や発達の段階に合わせて、学年ごとに傾斜をつけ配当し、重点項目は複数教材で扱い、学習経験となるよう配慮されている。 <p>＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学年の第1教材に「道徳の授業を始めよう」を設定し、学年の段階に応じて目的意識をもちながら授業に取り組めるよう工夫されている。 ○各学年に1教材、役割演技への取組が提案されており、演じる側や見る側に意識させたいポイントを示すことで、役割演技の質を高めるよう工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○教材がテーマをもって配列されていて、関連ある内容項目がまとめて構成されている。読み物教材に加えて、絵本や漫画形式、データや資料を使った教材がある。 ○教材内容の理解を助け、イメージを広げる絵や写真が適所に掲載されている。 ○QRコードが教材タイトルの下にある題材には、教材内容を補足するデジタルコンテンツが用意されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○一枚絵や写真の教材の掲載、UDへの配慮で見やすい紙面への工夫がされている。 ○漢字は、教材初出の固有名詞と小学校配当外の常用漢字全てに振り仮名が付されている。小学校配当外漢字を含む熟語は混ぜ書きを避け、全体に振り仮名が付されている。難解な言葉や必要な情報は脚注で解説されている。 ○教材冒頭に学習指導要領の四つの視点が色とマークで示されている。索引は四つの視点と内容項目ごとに教材を分類して現代的課題との関わりが示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○教材ごとに「てびき」が設定され、学習が深まるよう工夫されている。「広げよう」「深めたいむ」で、授業での学びが日常生活などにつながるよう工夫されている。 ○各学年に1教材、役割演技への取組が提案され、ポイントが示されている。 	

書名 項目	<p style="text-align: center;">中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート</p>	<p style="text-align: center;">1 1 6 日 文</p>
内 容	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材冒頭の主題名の明示により、主体的に見通しをもって学習に臨み、自分との関わりで道徳的諸価値の理解ができるよう配慮されている。教材末尾の「考えてみよう」では、ねらいに迫るとともに、様々な視点で考えを深めるよう工夫されている。 ○「学習の進め方」において、写真で対話的・協働的な学習場面が例示され、話合いや考えを深めるための工夫がされている。身近な人物から先人までの悩みや葛藤などの心の揺れや、それを乗り越える強さや気高さなどの多様な生き方が扱われている。 ○教材末尾に授業で学んだことを前向きに自分に生かす問いを設け、道徳性の育成につなげられるよう工夫されている。また、「道徳ノート」には4項目5段階の自分への振り返りがあり、心の成長や変容を実感できる構成になっている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「いじめの未然防止」を重要テーマとし、複数の教材・コラムを組み合わせたユニットを年間に複数配置して、集中的・継続的に考えるよう工夫されている。 ○全学年で「情報モラル」に関わる教材やコラムを掲載し、情報社会の倫理や情報セキュリティに関わる内容について、発達の段階に応じて学習できる工夫がされている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○発達の段階や学校生活及び他教科の内容や時期との関係、内容項目間の関連を考慮し、複数の教材やコラムがユニット化され年間に複数配置されている。 ○中学校3年間の発達の段階を考慮し、系統的・発展的に学習できるよう1年生では「であう」2年生では「みつめる」3年生では「ひらく」のテーマが設定されている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「道徳ノート」が別冊になっており、多様な話合いに対応させるため、友達の意見と自分の意見を左右で対比できるよう工夫がなされている。 ○「学習の進め方」では、問題解決的な学習や、道徳的行為に関する体験的な活動の流れが示され、主体的に考えることができるよう配慮されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○教材やコラムが学校の行事などと関連付けられ、年間計画に沿うよう配置されている。1時間の学習の流れが可視化され、学び合う場面が工夫されている。 ○教材の内容を理解するために大小様々な写真、挿絵などが掲載されている。 ○QRコードが示されている教材は、教材内容を補足するデジタルコンテンツが用意されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭や地域との連携、デジタル教材や規則的なページ構成、UDへの配慮がある。 ○漢字は、小学校配当外の常用漢字や固有名詞全てに振り仮名が付されている。難解な語句や教材の読み取りに必要な補足については、脚注や側注で必要に応じてイラストや写真を交え解説されている。 ○教材ごとに学習指導要領の四つの視点が色とマークで示されている。索引は四つの視点と内容項目ごとに分類して示され、目次はユニットのテーマが示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○教材冒頭と教材末尾で、様々な視点で道徳的諸価値の理解を深め、「道徳ノート」では心の成長や変容を振り返ることができるよう配慮されている。 ○3年間で系統的・発展的な学習になるよう、テーマやユニットが設定されている。 	

<p>書名 項目</p>	<p>新・中学生の道徳 明日への扉</p>	<p>224 学研</p>
<p>内 容</p>	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫> ○巻頭の「考えを深めるための4つのステップ」では具体的な展開例を示し、道徳的諸価値を自分との関わりで理解させる手立てとしている。教材冒頭のキーフレーズは、主体的に向き合い課題を発見し、考えを深めることができるよう工夫されている。 ○視点や内容項目の異なる複数の教材を関連させ、広い視野で考えられるよう工夫されている。従来の読み物だけではない、絵や写真、図やグラフなどの素材で構成した教材を充実させ、多様な視点から問題意識を喚起する工夫がされている。 ○「クローズアップ」を中心に道徳での学習を日常生活に生かし、道徳性の育成につながられるような工夫がされている。また、巻末の「学びの記録」にて自身の成長を振り返り、課題や目標を見付けられるよう配慮されている。</p> <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「命の教育」を重点テーマとし、「生命の尊重」と「いじめ防止」に関する題材を三つのテーマで取り扱い、各学年において3教材掲載する工夫がされている。 ○「情報モラル」について発達の段階に合わせて各学年2教材を配置している。また、そのうち1教材は共通のイラストを使用し系統的に扱えるよう工夫されている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○同じ内容項目を扱う教材は、内容の深まりや視野の広がりといった学年ごとの工夫がされており、生徒の生活実態や発達の段階に配慮されている。 ○学年ごとに、生徒の発達的特質に応じたテーマを設け、該当項目に複数教材を用意するなど、指導内容の重点化が工夫されている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○生徒が特定の価値観に縛られず、主体的に問題意識をもち、柔軟に考えることができるように教材の冒頭に主題名を記載しない工夫がされている。 ○「深めよう」では、問題解決的な話合いや、役割演技などの手立てが提示され、学習のめあてや流れを理解しやすくするよう工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○教材ごとに生徒の興味を引くひと言や授業に向き合うためのキーフレーズが記されている。様々な分野で活躍する人物、先人たちに関する教材がある。 ○挿絵や写真、グラフなどを使い、生徒自らの知識や能力を生かす工夫がされている。 ○QRコードが示されている教材には、内容と関連するデジタル教材等が見られるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○授業のしやすさを考えた流れの見えるページ構成、色やマーク、UDへ配慮がある。 ○漢字は、小学校配当外漢字や教材初出の固有名詞に振り仮名が付され、漢字の学習状況に関わらず、読み進めることができるように配慮されている。教材を読み取るために必要となる言葉や固有名詞は脚注で解説されている。 ○目次と教材は学習指導要領の四つの視点が色とマークで示されている。ユニットのテーマは色付けがされている。索引は四つの視点と内容項目で分類し示されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○道徳的諸価値を自分との関わりで理解する手立てや、複数の教材を関連付けて多面的・多角的に考え、日常生活に生かし道徳性の育成につながるよう工夫されている。 ○発達の段階を系統的に考え、現代的な課題を議論できる手立てが提示されている。</p>	

<p>書名 項目</p>	<p>中学生の道徳 中学生の道徳ノート</p>	<p>232 廣あかつき</p>
<p>内 容</p>	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫> ○別冊の「道徳ノート」を併用する構成となり、「道徳ノート」で道徳的諸価値の解説を、教材末尾には内容項目に沿い価値理解を深める名言が提示されている。各教材では「学習の手がかり」の提示により、主体的な学習が促されるよう工夫されている。 ○教材末尾の「考える・話し合う」で視点の異なる複数の問いを設け、多面的・多角的に考える力が育めるよう配慮されている。「道徳ノート」では教科書の教材と同じ内容項目を扱う資料が配置され、学習がさらに深まるよう工夫されている。 ○教材末尾にて「考えを広げる・深める」の問いを設け、道徳性の育成につなげられるような工夫がされている。また、「道徳ノート」は、授業内容に応じて自分の考えを記述することで、心の成長や変容を実感できる構成になっている。</p> <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○生命尊重を最重要項目と位置付け、全学年で3教材を掲載して様々な視点から捉える工夫をし、「いじめ防止」では四つの視点から考えを深めるよう工夫されている。 ○「情報モラル」について考えることのできる教材を全学年に掲載し、巻末に特集ページを設け、他の教育活動とも関連を図りながら活用できるよう工夫されている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○学年が進むに従って、価値そのものを深く考え、哲学的に思考することができる教材や問いが精選され、発達の段階に応じて道徳的な思考が深まるよう工夫されている。 ○各学年の掲載教材のバランス等を考慮しつつ、重点と関連の深い内容項目に該当する教材を多く取り上げるなど、指導内容の重点化が工夫されている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○「道徳ノート」には、内容項目ページと学習の記録ページを設け、話合いの記録が取れるようにする等、多様な学習に対応できるよう配慮されている。 ○教材末尾に「考える・話し合う」の欄を設け、生徒が問題解決的な学習や道徳的な行為に関する体験的な学習に見通しをもって取り組めるよう工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○見通しをもって学べるよう、考えたり話し合ったりする手がかりが掲載されている。教材と合わせて、または授業の展開に応じて活用できる補助資料が配置されている。 ○挿絵や写真があり、教材を読み進める上で生徒の思考を促すよう配慮されている。 ○「インターネット」のマークがある題材には、関わりのある補助資料を見られるデジタルコンテンツが用意されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○補助資料やUDでのイラスト配置などを考え、ゆとりある紙面構成がなされている。 ○漢字は、教材初出の固有名詞と小学校配当外の常用漢字全てに振り仮名が付され、内容を理解し、読み進めることができるよう配慮されている。難解な言葉や情報は、脚注で解説されている。 ○教材冒頭に学習指導要領の四つの視点が色とマークで示され、道徳ノートのページ数が付されている。巻末には、教材ごとに内容項目が示されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○「道徳ノート」の併用により、主体的な学習を促し、多面的・多角的に考え、道徳性の育成につなげるとともに、心の成長や変容を実感できるよう工夫されている。 ○他の教育活動との関連で考える現代的な課題や発達の段階に応じ深まる教材がある。</p>	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<h1>道徳 中学</h1>	<p>2 3 3</p> <p>日 科</p>
<p>内 容</p>	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分との関わりで問題と向き合い、考える経験を積み重ねていくことで授業のねらいを明確にする教材や、自己の判断基準となる価値観形成のために、道徳的諸価値の理解を基に多種多様な生き方と出会うことができる教材づくりが工夫されている。 ○多面的・多角的な見方、考え方ができる教材を掲載し、友達と議論をし、価値観の多様性を受け入れる寛容な心が育めるよう配慮されている。自己を見つめるため、巻末に心の成長を振り返るページが設けられている。 ○教材末尾に「考え、話し合ってみよう、そして深めよう」を設け、自己の生き方を見つめたり、どのように考え行動に移すかなどの道徳的問題を自分のこととして捉えたりすることで、道徳性の育成につなげられるよう工夫されている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「いじめを許さない心」の根底にある「生命を尊ぶ態度」について複数教材を配置し、生命尊重への学びを深める多様な教材から、考えが深まるよう工夫されている。 ○「情報モラル」については社会では欠くことのできない情報機器との関わりについての教材を各学年に掲載し、自分ごととして話し合う工夫がされている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年生は自己の個性、能力、適正等について、2年生は自己啓発について、3年生は自己実現について、それぞれの道徳的問題に向き合えるよう配慮されている。 ○価値の多様性を受け入れる寛容な心を育む項目は、ワーク方式を取り入れ、思考と議論を年単位で積み重ねられるように工夫されている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学年に1教材、ワークシートを付けたものがあり、自分の考えと友達の考えを比較することで、議論をしやすくするよう工夫されている。 ○問題解決的な学習や道徳的な行為に関する体験的な学習ができる教材が設定されており、イラストとともに手立てが見やすく提示されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教師が生徒の実態や学校の計画等に沿って教材の配置や順序を変更することができる工夫がされている。同一の登場人物についてのシリーズ教材が掲載されている。 ○教材の場面理解を促す大小様々な挿絵や写真が掲載されている。 ○生徒にとって身近な生活体験や事象だけでなく、様々なジャンルの先人や著名人の生き方を扱った教材が掲載されている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の手立てや場面理解を促す資料、魅力ある人物教材やシリーズ教材などがある。 ○漢字は小学校配当外漢字の教材初出箇所や固有名詞に振り仮名が付されており、内容を理解し、読み進めることができるよう配慮されている。難解な言葉や必要な情報は脚注で必要に応じて写真を交え解説している。 ○教材ごとに学習指導要領の四つの視点が色で示されている。目次と索引は、項目ごとに分類され、色で示されている。目次と教材の番号は内容項目に対応させている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳的諸価値の理解を基に、自己の生き方を見つめ道徳性を育成するため、友達と議論し多面的・多角的に考え、多様な生き方に出会う教材づくりが工夫されている。 ○発達の段階での連続性や現代的な課題が他領域とつながるよう配慮がなされている。 	

道徳科 調査資料 2

○総ページ数

※「日文」・「廣あかつき」は、道徳ノートが別冊となっている。

※ 目録掲載の
ページ数

学年	東書	教出	光村	日文	学研	廣あかつき	日科
1年	196	218	197	198+42	186	186+52	194
2年	204	202	205	198+42	198	170+52	194
3年	204	202	205	198+42	198	166+52	194

○内容項目の配当数

内容項目	学年	東書	教出	光村	日文	学研	廣あかつき	日科
自主、自律、 自由と責任	1年	2	2	2	2	2	3	1
	2年	2	1	2	2	2	3	2
	3年	2	2	2	2	2	3	2
節度、節制	1年	2	2	1	1	2	1	1
	2年	2	2	2	1	2	1	1
	3年	2	1	1	1	2	1	1
向上心、 個性の伸長	1年	1	1	1	1	1	1	2
	2年	1	1	2	1	1	1	2
	3年	1	1	2	1	1	1	1
希望と勇氣、 克己と強い 意志	1年	1	2	1	1	2	2	1
	2年	1	2	2	1	1	2	1
	3年	1	1	2	1	1	2	2
真理の探究、 創造	1年	1	1	1	1	1	1	1
	2年	1	1	1	1	2	1	1
	3年	1	1	1	1	2	1	1
思いやり、 感謝	1年	3	3	3	2	2	3	2
	2年	2	3	1	2	2	3	1
	3年	2	1	2	2	3	3	2
礼儀	1年	1	1	1	1	1	1	1
	2年	1	1	1	1	1	1	1
	3年	1	1	1	1	1	1	1
友情、信頼	1年	2	2	2	3	3	2	3
	2年	2	2	2	3	2	2	3
	3年	2	2	1	2	2	2	3
相互理解、 寛容	1年	2	2	2	1	1	1	2
	2年	2	1	2	1	2	1	3
	3年	2	1	3	1	2	1	1
遵法精神、 公德心	1年	2	1	2	2	2	2	3
	2年	2	2	1	2	2	2	2
	3年	2	1	2	2	2	2	2
公正、公平、 社会正義	1年	2	1	2	2	2	2	3
	2年	2	2	2	2	1	2	2
	3年	2	1	2	2	1	2	2

内容項目	学年	東書	教出	光村	日文	学研	廣あかつき	日科
社会参画、 公共の精神	1年	2	1	1	2	1	1	3
	2年	2	3	1	2	2	1	2
	3年	2	4	1	3	1	1	2
勤労	1年	2	1	1	2	1	1	1
	2年	2	1	1	2	1	1	2
	3年	2	1	2	2	1	1	1
家族愛、 家庭生活の 充実	1年	1	1	1	1	1	2	2
	2年	1	1	1	1	1	2	1
	3年	1	1	1	1	1	2	2
よりよい学校 生活、集団 生活の充実	1年	1	1	2	1	2	1	1
	2年	1	1	1	1	2	1	1
	3年	1	1	1	1	1	1	1
郷土の伝統と文 化の尊重、郷土 を愛する態度	1年	2	4	1	2	1	1	2
	2年	1	2	1	1	1	1	2
	3年	1	2	1	1	1	1	1
我が国の伝統と 文化の尊重、国 を愛する態度	1年	1	1	1	1	1	1	1
	2年	2	1	1	2	1	1	2
	3年	1	2	1	2	1	1	2
国際理解、 国際貢献	1年	1	1	1	2	2	1	1
	2年	1	3	2	2	1	1	1
	3年	3	2	1	2	3	1	2
生命の尊さ	1年	4	3	3	3	3	3	2
	2年	4	2	3	3	3	3	2
	3年	4	3	3	3	3	3	3
自然愛護	1年	1	1	1	1	1	1	1
	2年	1	1	1	1	2	1	1
	3年	1	2	1	1	1	1	1
感動、 畏敬の念	1年	1	1	1	1	1	1	1
	2年	1	1	1	1	1	1	1
	3年	1	2	1	1	1	1	1
よりよく生き る喜び	1年	2	2	2	2	2	3	2
	2年	3	1	2	2	2	3	3
	3年	2	2	2	2	2	3	3
※ その他	1年	0	0	2	0	0	0	0
	2年	0	0	2	0	0	0	0
	3年	0	0	2	0	0	0	0

※ 「その他」の数は、内容項目が示されていない教材数を表す。

○教材総数に占める四つの視点ごとの割合

視点	学年	東書	教出	光村	日文	学研	廣あかつき	日科
教材総数	1年	37	35	35	35	35	35	37
	2年	37	35	35	35	35	35	37
	3年	37	35	35	35	35	35	37
A 主として自分自身に関すること	1年	19%	23%	17%	17%	23%	23%	16%
	2年	19%	20%	26%	17%	23%	23%	19%
	3年	19%	17%	23%	17%	23%	23%	19%
B 主として人との関わりに関すること	1年	22%	23%	23%	20%	20%	20%	22%
	2年	19%	20%	17%	20%	20%	20%	22%
	3年	19%	14%	20%	17%	23%	20%	19%
C 主として集団や社会との関わりに関すること	1年	38%	34%	34%	43%	37%	34%	46%
	2年	38%	46%	31%	43%	34%	34%	41%
	3年	41%	43%	34%	46%	34%	34%	41%
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	1年	22%	20%	20%	20%	20%	23%	16%
	2年	24%	14%	20%	20%	23%	23%	19%
	3年	22%	26%	20%	20%	20%	23%	22%

※ %は、当該学年の教材総数に占める割合を表す。(端数処理のため、合計が100%にならないことがある。また、一つの教材において視点が複数にまたがり両方の視点でカウントしている場合や、教材の内容項目が示されていない場合があるため、合計が100%にならないことがある。)

○各学年で取り上げている題材延べ数に占める題材ごとの割合

題材	学年	東書	教出	光村	日文	学研	廣あかつき	日科
題材のべ数	1年	111	81	86	57	52	42	44
	2年	106	70	89	68	62	61	43
	3年	95	68	88	74	59	54	38
生命の尊厳	1年	9%	6%	3%	9%	10%	12%	7%
	2年	9%	9%	3%	10%	11%	23%	5%
	3年	8%	9%	3%	8%	8%	22%	8%
社会参画	1年	18%	21%	21%	16%	33%	24%	32%
	2年	24%	29%	17%	19%	18%	10%	21%
	3年	26%	29%	24%	19%	29%	17%	16%

題材	学年	東書	教出	光村	日文	学研	廣あかつき	日科
自然	1年	12%	7%	3%	5%	6%	5%	9%
	2年	8%	4%	2%	9%	6%	7%	7%
	3年	5%	6%	2%	3%	3%	6%	8%
伝統と文化	1年	6%	9%	8%	11%	4%	5%	5%
	2年	7%	4%	8%	9%	6%	2%	9%
	3年	5%	9%	7%	8%	7%	4%	11%
先人の伝記	1年	1%	4%	3%	4%	4%	5%	11%
	2年	6%	4%	2%	3%	6%	5%	12%
	3年	2%	6%	5%	9%	7%	6%	18%
スポーツ	1年	5%	5%	0%	4%	8%	5%	7%
	2年	8%	4%	3%	4%	6%	10%	14%
	3年	8%	1%	5%	4%	8%	7%	8%
現代的課題 (いじめ)	1年	15%	14%	14%	16%	12%	10%	7%
	2年	10%	16%	16%	12%	10%	7%	0%
	3年	8%	9%	13%	12%	10%	9%	3%
現代的課題 (情報モラル)	1年	1%	2%	2%	5%	6%	7%	5%
	2年	2%	3%	3%	6%	3%	5%	5%
	3年	4%	1%	1%	4%	3%	4%	3%
現代的課題 (消費者教育、 防災教育等)	1年	10%	5%	1%	7%	2%	5%	2%
	2年	5%	7%	1%	4%	5%	5%	2%
	3年	11%	3%	1%	5%	3%	4%	3%
その他 (上記以外)	1年	23%	27%	43%	25%	17%	24%	16%
	2年	22%	20%	44%	24%	27%	28%	26%
	3年	21%	26%	40%	27%	20%	22%	24%

※ %は、当該学年で取り上げている題材延べ数に占める割合を示す。

※ 現代的課題等：いじめ、情報モラル、消費者教育、防災教育、食育、人権、環境など。